

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

歌島小	学校	児童数	50
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.35	18.81	30.04	37.65	47.12	9.50	147.85	21.46	50.38
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.00	22.42	35.83	36.71	37.79	9.74	134.33	15.39	55.04
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

本校の結果を全国平均と比較すると、男子はシャトルランとソフトボール投げが全国平均を上回った一方で、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、体力合計点が全国平均を下回っていた。特に、長座体前屈と反復横跳びでは全国との差が4ポイント以上となっており、柔軟性や瞬発力に課題があると考えられる。女子は、体力合計点を含め多くの項目で全国平均を上回っていたが、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳びが全国平均を下回る結果となった。男子と同様に、柔軟性や瞬発力の向上が課題であるといえる。また、質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」は男女とも肯定的回答が全国平均を上回っていて、1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は全国平均よりも少なく、運動に対して肯定的であり、実際に体をよく動かしているということがうかがえる結果だった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、縄跳び月間やかけ足週間に取り組むなどして体育の授業を中心に運動する機会を確保している。休み時間には多くの子どもが運動場で体を動かしている。また、手洗い・うがい週間を学期ごとに設けて生活習慣を振り返る機会としている。しかし、運動習慣に関する調査結果からは、生活習慣の影響が子どもたちに影響を及ぼしている可能性がうかがえた。本校では朝食を食べない日があったり、睡眠時間が短めであったりする傾向がみられ、運動・食事・休養（睡眠）に気をつけた生活を送れていると感じている割合が、低い。また、体育の授業に対する意識を見ると、男女ともに学習には積極的に取り組んでいるものの、女子の方が男子よりも「体育の授業が楽しい」と感じている割合が高い。これまでの状況や今回の結果から、今後は、運動の楽しさを実感できる環境を整えることで、運動能力の向上と健康的な生活習慣の確立を目指していくことが重要と考える。